

造血器疾患における赤血球輸血のヘモグロビン閾値に関する研究

1. 研究の対象

2015年2月1日～2015年2月29日までに造血器疾患のために当院で輸血を受けられた方

2. 研究目的・方法

貧血患者の代表として血液疾患の患者さんを対象とした赤血球輸血に関する情報を収集し解析することにより、赤血球製剤の使用実態を明らかにし、今後の輸血医療発展のために役立てたいと考えています。また、赤血球輸血の長期的な副作用である輸血後鉄過剰症とその治療の実態も調査したいと考えています。輸血を受けた患者さんの性別、年齢、診断、貧血による自覚症状の有無などの患者さんの背景と輸血直前の貧血の値を見比べて考察します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：輸血製剤情報、輸血日、今までの赤血球輸血の単位数、既往歴、輸血直前のヘモグロビン濃度、白血球数、血小板数、輸血前後1ヶ月の血清フェリチン、輸血時の主な治療 等

4. 外部への試料・情報の提供

匿名化した情報を記入した調査票をデータセンターに郵送します。匿名化の対応表は当院の研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

日本輸血細胞治療学会臨床試験支援委員会

東京医科大学八王子医療センター 田中朝志

筑波大学附属病院 長谷川雄一

自治医科大学附属病院 室井一男、藤原慎一郎

虎の門病院 牧野茂義

神鋼記念病院 松本真弓

浜松医科大学附属病院 竹下明裕

大阪市立大学附属病院 藤野恵三

群馬大学医学部附属病院 横濱章彦

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲
内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代
理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先ま
でお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

埼玉県所沢市並木 3-2 04-2995-1511 (内 2372)

防衛医科大学校病院 血液内科 輸血・血液浄化療法部 佐藤 謙 (研究責任
者)

研究代表者：

群馬大学医学部附属病院輸血部 横濱章彦

埼玉県所沢市並木 3-2 04-2995-1511 (内 5030)